

氏名： 粕川 正充 (KASUKAWA Masaatsu)
所属： 人間文化創成科学研究科自然・応用科学系
学位： 1993年7月東京工業大学博士(理学)取得
職名： 准教授
専門分野： ユーザインタフェース、コンピュータアーキテクチャ
URL： <http://www.is.ocha.ac.jp/~kasukawa/>
E-mail： kasukawa@is.ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

ユーザインタフェース/オンライン手書き文字通信/USB 機器インタフェース
User Interface / Online Handwriting Character Communication / USB Device Interface

◆主要業績

総数 (1) 件

- ・ポスター発表: 粕川 正充「コンピュータ制御されたモニタをオブジェクトとした万華鏡の製作」、第49回プログラミングシンポジウム、
第49回プログラミングシンポジウム報告集 167-170p、2008年1月発行

◆研究内容 / Research Pursuits

人間を中心としたコンピュータと人間の共棲を目指す。

現在のコンピュータのありかたは酷くいびつである。コンピュータをありうるべき姿で捉えなおし、人間にとって自然なパートナーであるように研究をしている。

また、暗号やステガノグラフィ、コンピュータアーキテクチャなどについても研究を行っている。

Toward the Symbiosis of man and Computer, I study the interfaces between human and computer.

The development of computers stepped into the crooked way.

I hope to justify the way to the right one.

Also I carry on research about Cryptography, Steganography, Computer Architecture.

◆教育内容 / Educational Pursuits

学部講義としてコンピュータアーキテクチャ I、コンピュータアーキテクチャ II、情報倫理、基礎ゼミを担当した。

コンピュータアーキテクチャ I はコンピュータのハードウェア面を主として授業を行った。コンピュータアーキテクチャ II はコンピュータのソフトウェア面を主としてオペレーティングシステムの授業を行った。

情報倫理はコンピュータセキュリティを管理者の立場で学ばせた。異常事態はなぜ発生するのか、また対策はどのように行うのか、再発防止はどうすればよいのか、また各段階で発生するコストはどの程度になるのかなどを講義し、レポートを課した。基礎ゼミは他学科 1 年生向けの情報科学科ではどのような内容を学ぶのかを紹介する講義であり、授業時間の最初の 30 分は情報関係の様々なトピックを解説し、残り 1 時間で電子回路の市販キットや PIC-BASIC 基板の組み立てやプログラムの作成を行い、最後にレポートを課した。

◆研究計画

一昨年の研究として、手書き文の作成と手書きのメール送信プログラム、手書きメールの受信再生プログラムがあるが、諸事情によりこの論文の投稿がまだであるので、継続研究と絡めてこの論文を投稿する予定である。

また、長年投稿を続けた「Icon を投げる」研究を共同研究者と共にさらに深く掘り下げたい。

学生の病気で思ったように進展していないが、USB 接続の音響検知装置を作成し、ドアやテーブルのタッチパネル化を行って論文を作成する予定である。